

MJC Future Vision

長期的に当社が目指す姿



MJC Future Vision

当社グループが属する半導体・FPD市場は産業構造や技術動向、市況の変動が激しく、不透明性が高いため、従来の中期経営計画のように期間を固定した計画に代えて、**長期的に当社が目指す姿**をまとめた『MJC Future Vision』を策定致しました。

なお、本『MJC Future Vision』は、市況環境等に大幅な変更があった場合は、必要に応じて更改する予定です。



経営理念

電子計測技術を通して広く社会に貢献する

経営方針

1. 蓄積された技術と製造ノウハウを結集し、
顧客に最高のベネフィットを提供する
2. 常に技術開発に注力し、新技術の実現に努める
3. 全社員が自己実現を図り、創造性豊かな企業文化を構築する
4. QDCCSSの改善および改革にすべての社員の力を結集する



QDCCSS

当社は、お客様の信頼を得ることが大切との考えに基づき、製品の開発から営業、設計、製造、資材調達、アフターサービス、管理、システム構築のあらゆる段階において、独自の総合管理システム“QDCCSS”(呼称:クダックス)が定めた六つの活動テーマの下、その改善、及び改革に取り組んでいきます



目指す姿

QDCCSSを更に推し進めて品質と納期での競争力を高め、市場へ安心・安全を提供する事で『より豊かな社会の発展に貢献』する

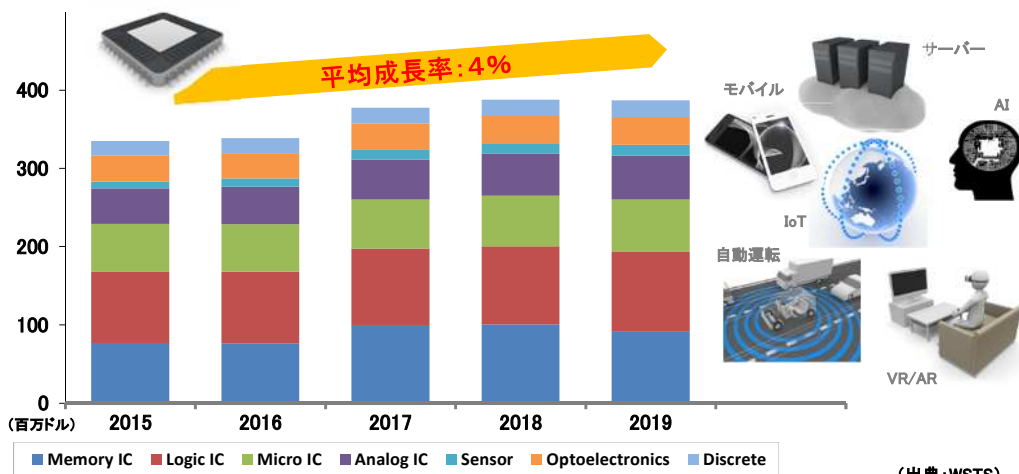
(基本方針)

1. リーディングカンパニーとして、常に技術革新に挑み、他の追随を許さない新たな価値を創造
2. 顧客ニーズに即応した製品開発と、その拡販によって、市況の変化に左右されない安定収益を確保
3. 新たな分野に向けた挑戦の継続
4. 真のグローバルカンパニーに相応しい人財育成



豊かな社会のために

エレクトロニクス製品に欠かせない半導体は今後も需要の伸びが予想されています。当社の高度な電子計測技術を通して、その安心・安全を提供しています。



MJC Future Vision —重点施策—

Probing the Future

成長のコンセプト

1. 強みである技術力、開発力を更に進化させ、顧客に最高のベネフィットを提供する
2. QDCGSSを始めとする企業文化を追求し、ブランド力を更に高め、全世界のMJC拠点においてサービス向上を目指す
3. 内外各種研修の充実により、グローバルに活躍する人財を育成し、更に企業価値を高める



©2021 All Rights Reserved - Micronics Japan Co., Ltd 7

MICRONICS JAPAN CO.,LTD.

MJC Future Vision —重点施策—

Probing the Future

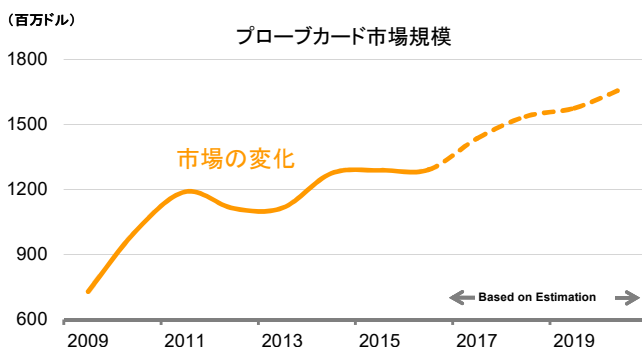
プローブカード事業

1. プローブカードのリーディングカンパニーとして、その名に恥じない地位を維持

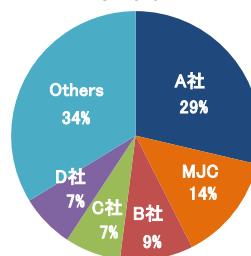
- ・市場の変化に臨機応変に対応出来る体質
- ・健全な経営に基づく最先端技術の提供
- ・厳しい競争環境下でも製品の優位性を維持し、市場シェアをキープ



U-Probe



Probe Card Market Share CY2016



出典: VLSI Research



©2021 All Rights Reserved - Micronics Japan Co., Ltd 8

MICRONICS JAPAN CO.,LTD.

MJC Future Vision —重点施策—

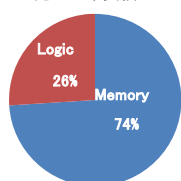
Probing the Future

プローブカード事業

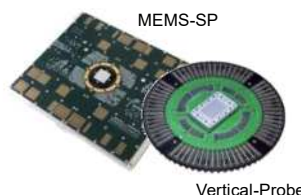
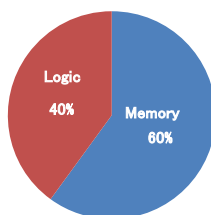
2. ロジック製品の販売拡大で、ロジック市場でのシェアを拡大

- ・売上比率 メモリ6割:ロジック4割を目指す

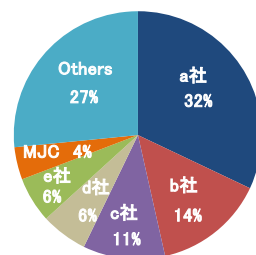
2017年9月期
プローブカード
売上比率実績



プローブカード
売上比率目標



Logic Probe Card Market Share
CY2016



3. グローバル展開

- ・子会社を活用したアジア市場対応の強化でプレゼンス向上
- ・グローバルに活躍出来る人材の育成(海外対応力強化)



MJC Future Vision —重点施策—

Probing the Future

TE事業

1. 安定的な収益確保

- ・現行ビジネスの安定確保とスピード感を持った後継機種種の開発

2. 新規事業(製品)の育成と収穫

- ・半導体機器を中心とした新規製品の開発と拡販

3. 事業(製品)の選択と集中

- ・市場を見据え、開発資源を集約し、事業(製品)を育成

半導体テスタ



プローバ



プローブユニット



株主還元方針

Probing the Future

当社は、株主の皆さまに対する利益還元を、経営の重要課題の一つとして認識しています。
安定的な経営基盤の確立と、自己資本利益率の向上に努めると共に、業績、配当性向などを総合的に勘案した上で安定した配当を継続する事を基本方針としています。

(円)

	FY13 (第43期) 実績	FY14 (第44期) 実績	FY15 (第45期) 実績	FY16 (第46期) 実績	FY17 (第47期) 予想
配当額	5	15	27.5	15	10

※2015年9月期(FY15)以前の配当額については、株式分割を考慮した配当額としています。

※2015年9月期(FY15)、2016年9月期(FY16)については、記念配当を含みます。

※2018年9月期以降は、通期業績予想を公表する第2四半期決算発表において、配当予想も開示する予定です。



©2021 All Rights Reserved - Micronics Japan Co., Ltd 11

MICRONICS JAPAN CO.,LTD.

まとめ

Probing the Future

- MJC Future Visionとして掲げた、「QDCCSSを更に押し進めて品質と納期での競争力を高め、市場へ安心・安全を提供する事で『より豊かな社会の発展に貢献』する」を目指し、各種重点施策に取り組んで行く。
- プローブカード事業は、引き続き、成長分野であるロジック向け製品を強化し、シェア拡大に努めると共に、メモリ分野では、リーディングカンパニーとしての社会的使命を果たして行く。
- TE事業は、持続的な成長に向けて、次世代の製品開発を押し進め、安定した事業の柱を増やして行く。



©2021 All Rights Reserved - Micronics Japan Co., Ltd 12

MICRONICS JAPAN CO.,LTD.

Probing the Future

Probing the Future



©2021 All Rights Reserved - Micronics Japan Co., Ltd

MICRONICS JAPAN CO.,LTD.